

2022年(令和4年)度事業報告書

2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日

(特定非営利活動法人 環境保全技術研究所)

I 事業の成果

① 構造物の老朽化・耐久性調査・研究

② 新技術に関する講演会並びに研修会の開催・後援

<豊後大野市大野公民館行事:企業育成研修会>

- a. 4月16日に「雨水の排除と汚水処理」～都市環境施設～というテーマで、技術講演会を実施した。講師は島田 晉(大分工業高等専門学校名誉教授)である。
- b. 5月21日に「労働災害の発生状況」～建設現場における具体的対策～という演題で、技術講演会を実施した。講師は竹下信吾(労働安全士)である。
- c. 6月4日に「土木構造工学入門」～RC構造物の施工現場から設計を見直す～という演題で技術講演会を実施した。講師は原田哲夫(長崎大学名誉教授)である。
- d. 7月16日に「土質試験と地質調査」～試験調査結果の判定と所見～という演題で技術講演会を実施した。講師は加茂豊博(社団法人大分県地質調査業協会)である。
- e. 8月20日に「鋼橋落下と橋梁補修」～落橋事例と調査設計業務～という演題で、技術講演会を実施した。講師は出光隆(九州工業大学名誉教授)・増尾英明(設計コンサルタント・技術士)である。
- f. 9月17日に「土の透水性と土圧」～矢板工と壁体土圧の理解～という演題で技術講演会を実施した。講師は丸山 巖(日本文理大学工学部元教授)である。

<佐伯市弥生地区公民館行事:企業育成研修会>

- g. 4月23日に「雨水の排除と汚水処理」～下水道の要点～という演題で、技術講演会を実施した。講師は島田 晉(大分工業高等専門学校名誉教授)である。
- h. 5月28日に「労働災害の発生状況」～建設現場における具体的対策～という演題で、技術講演会を実施した。講師は竹下信吾(労働安全士)である。
- i. 6月25日に「斜面の安定と壁体土圧」～土の透水性と土圧・概説～という演題で、技術講演会を実施した。講師は丸山 巖(日本文理大学工学部元教授)である。
- j. 7月30日に「土質試験と地質調査」～試験調査結果の判定と所見～という演題で技術講演会を実施した。講師は加茂豊博(社団法人大分県地質調査業協会)である。
- k. 9月24日に「利他行と会計検査」～緑の大地計画と流れ・指摘事項～という演題で、技術講演会を実施した。講師は出光隆(九州工業大学名誉教授)・増尾英明(設計コンサルタント・技術士)である。

<大分県港湾建設協会共催行事・大分市ホルトホール:企業育成研修会>

- l. 5月19日に「エネルギー問題」～多様化と実践事例～というテーマで、技術講演会を実施した。講師は島田 晉(大分工業高等専門学校名誉教授)である。

③ 自然環境保全のための調査・研究

④ 自然災害時の復旧事業に関する調査・研究

⑤ 新技術を用いたインフラの保全に関する研究

⑥ 機関紙の発行

II 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動法人 環境保全技術研究所)

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時(単位数) [内容]	実施場所	従事者の人数 (講師)	受益対象者 及び予定人数
②新技術に関する 講演会並びに研修 会の開催・講演	CPDS研修	a. 2022年4月16日(4) [雨水の排除と汚水処理]	a. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (島田 晋)	企業技術者 25名
	CPDS研修	b. 2022年5月21日(4) [労働災害の発生状況]	b. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (竹下信吾)	企業技術者 25名
	CPDS研修	c. 2022年6月4日(4) [土木構造工学入門]	c. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (原田哲夫)	企業技術者 30名
	CPDS研修	d. 2022年7月16日(4) [土質試験と地質調査]	d. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (加茂豊博)	企業技術者 25名
	CPDS研修	e. 2022年8月20日(4) [鋼橋落下と橋梁補修]	e. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (出光・増尾)	企業技術者 25名
	CPDS研修	f. 2022年9月17日(4) [土の透水性と土圧]	f. 大野公民館 (豊後大野市大野町)	4人 (丸山 巖)	企業技術者 25名
	CPDS研修	g. 2022年4月23日(4) [雨水の排除と汚水処理]	g. 弥生地区公民館 (佐伯市弥生町)	4人 (島田 晋)	企業技術者 35名
	CPDS研修	h. 2022年5月28日(4) [労働災害の発生状況]	h. 弥生地区公民館 (佐伯市弥生町)	4人 (竹下信吾)	企業技術者 35名
	CPDS研修	i. 2022年6月25日(4) [斜面の安定と壁体土圧]	i. 弥生地区公民館 (佐伯市弥生町)	4人 (丸山 巖)	企業技術者 35名
	CPDS研修	j. 2022年7月30日(4) [土質試験と地質調査]	j. 弥生地区公民館 (佐伯市弥生町)	4人 (加茂豊博)	企業技術者 35名
	CPDS研修	l. 2022年9月24日(4) [利他行と会計検査]	j. 弥生地区公民館 (佐伯市弥生町)	4人 (出光・増尾)	企業技術者 35名
	CPDS研修	m. 2022年5月19日(4) [エネルギー問題]	m. ホルトホール大分 (大分市金池南)	4人 (島田 晋)	企業技術者 25名
	③自然環境保全の ための調査・研究	-	-	-	-
④自然災害時の復旧 に関する調査・研究	-	-	-	-	-
⑤新技術を用いた インフラの保全	-	-	-	-	-
⑥機関紙の発行	-	-	-	-	-

(法第28条第1項関係様式例、勘定式)

2022年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

2023年3月31日現在

(特定非営利活動法人 環境保全技術研究所)

科 目	金 額 (単位:円)		科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債	0	
大分銀行 勢家支店			未払費用	0	
普通預金	600,080				
売掛金	0				
流動資産合計		600,080	流動負債合計	0	0
2 固定資産			2 固定負債		
			長期借入金	0	
固定資産合計		0	固定負債合計	0	
			負債合計		0
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産		685,835
			当期正味財産		600,080
			増加額(減少額)		-85,755
			正味財産合計		600,080
資産合計		600,080	負債及び正味財産合計		600,080

2022年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2023年3月31日現在

(特定非営利活動法人 環境保全技術研究所)

単位:円

科目・摘要		金額	
I資産の部			
1	流動資産		
	現金預金		
	現金 現金手許有高	0	
	普通預金 大分銀行勢家支店	600,080	
	売掛金		
	流動資産合計		600,080
2	固定資産		
	什器備品	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		600,080
II負債の部			
1	流動負債		
	未払費用	0	
	預り金	0	
	流動負債合計		0
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		0
	正味財産		600,080

2022年度(令和4年度)「特定非営利活動に係る事業」活動計算書(詳細)

2022年4月1日～2023年3月31日

(特定非営利活動法人 環境保全技術研究所)

科 目	金 額 (単位:円)			
I 経常収益の部				
1 受取会費				12,000×0人
正会員年会費収入	0			
賛助会員年会費収入	0	0	0	
2 受取寄附金	0			
3 受取助成金等		0		
4 事業収益				
研修会費				
講演会・研修会:資料費(大野会場)	12,000			
大分県佐伯市弥生地区公民館	575,300			5回
大分県豊後大野市大野公民館・朝地公民館	690,360			6回
大分県港湾建設協会(ホルトホール大分)	123,250	1,400,910		1回
委員会費				
理事会・総会・正会員会議費	0	0	1,400,910	
3 その他収益				
受取利息	5			
雑収益	0	5	5	
経常収益合計(前年度繰越金685,835)				1,400,915
II 経常支出の部				
1 事業費				
①人件費				
給料手当	0	0		
②その他経費				
講師への謝金	720,000			
会議費・旅費交通費	200,000			
CPDS登録費・資料作成費	16,222	936,222	936,222	
2 管理費				
①人件費				
役員報酬	0			
給料手当	0	0		
②その他経費				
会議費(理事会・総会他)・積立金	360,000			
通信費(切手・レターパック料・はがき代)	21,580			
交通費(タクシー代等)	9,890			
備品購入費(プリンターインク・パソコン修理)	31,795			
図書費(日経コンストラクション)	9,930			
事務消耗品費(名刺・インク代)	11,033			
雑費(高専テクノフォーラム・慶弔費等)	35,220	479,448	479,448	
経常支出合計(次年度繰越金600,080)				1,415,670
III 経常外収益の部				
1 固定資産売却益				
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損				
税引前当期正味財産増減額(経常収支差額)	-14,755			
法人税、住民税及び事業税	71,000			
当期正味財産増減額	-85,755			
前期繰越正味財産額	685,835			
次期繰越正味財産額	600,080			
経常収支差額				-14,755